

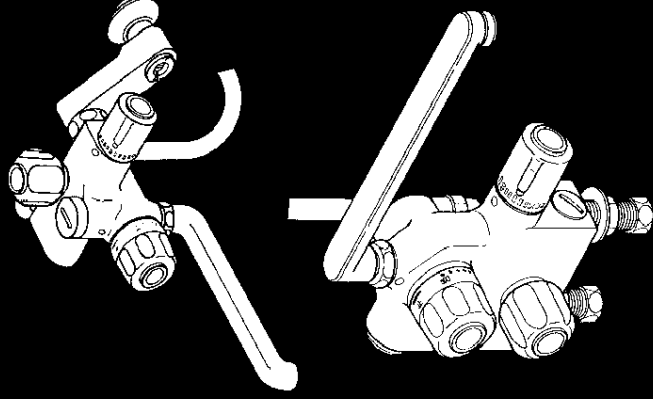
## ジョイシリーズ“自動みずとめ”

定量止水付サーモスタット  
シャワーバス金具・混合栓

# TOTO

## ご愛用のしおり

■このたびは、TOTO自動みずとめをお求めいただきました。ありがとうございます。  
このしおりをよくお読みのうえ、正しくお使いください。



### もくじ

安全上の注意	1～2
特長	3
各部のなまえ	4～6
つかいかた	7～9
使用上の注意	9～11
手入れのしかた	12
温度調節の方法	13
最大吐水量の調節方法	14
故障したときは	15
自動バルブの掃除のしかた	16

商品のお問合せはTOTOお客様相談室へ



**0120-03-1010**

受付時間9:00～17:30(土・日・祝日を除く)

# 安全のために必ずお守りください

ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

- この説明書では、機器を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。

## ⚠️ 注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性がありますを示しています。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。

## ⚠️ 注意

- (1)シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温かどうかを確かめてください。高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。(シャワー付)
- (2)お使いになる前に、カラン側かシャワー側かを切替ハンドルで確認してから湯をお使いください。  
カラン吐水とシャワー吐水を間違えると、やけどをするおそれがあります。(シャワー付)
- (3)水栓の左側は給湯側のため高温になっています。水栓の表面に直接肌を触れないようにしてください。  
やけどをするおそれがあります。
- (4)熱湯をお使いのときには、カランは高温になっています。  
直接肌を触れないでください。  
やけどをするおそれがあります。(カラン付)
- (5)使用後は必ず温度調節ハンドルの目盛を40°C以下に戻しておいてください。  
次に使用すると、いきなり高温の湯を浴び、やけどをするおそれがあります。

(6)高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないようしばらく水を流してください。  
次に使用すると、水栓内に滞留した高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。

(7)ハンドルの温度位置を確かめた後、吐水してください。  
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

(8)温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇することがありますので、温度調節ハンドルはゆっくり回してください。  
やけどをするおそれがあります。

(9)シャワー使用後は、切替ハンドルを必ずカラン側に切替えてください。  
切替ハンドルがシャワー側になっているのを気付かず湯を出すと、やけどをするおそれがあります。(切替弁付)

(10)凍結が予想される際は、配管の水抜操作と水栓の水抜操作を同時に行ってください。  
凍結破損で漏水し、家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。(寒冷地用)

(11)ハンドルを急閉止させると、配管から漏水を起こすおそれがありますので、ゆっくり操作してください。  
漏水で家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。

## 特長

### 1. ハンドルでお湯の量はびったり調節

吐水量は希望の量を設定ハンドルにまかせておくだけで、今までのようにいちいち気にする必要はありません。

吐水量は実際に流れる量で制御します。時間で制御する場合とちがって、水圧にはほとんど左右されません。

### 2. お湯をあふれさせない一節水省エネに大助かり

浴槽の大きさに合わせて最大吐水量の調節ができます。

### 3. お湯の温度を自動調節

混合水の温度を一定に自動調節しますので、使用中に給水・給湯圧力が変わっても、温度はほとんど変化しません。

### 4. 操作は簡単!!安心・安全設計

温度調節ハンドルの操作ひとつで、お好みの温度に変えられます。また、安全ボタン付ですので誤って熱湯が出ることもありません。

### 5. 調節やお手入れにもちょっとした気くほりを

配管中の砂やごみなどが機能部に入らないよう、ストレーナを設けています。

### 6. 音の静かな自動バルブ

緩閉止機構採用していますので、止水音が静かです。

### 7. 取替えが簡単なカートリッジ式

万一故障した場合でも、機能部はカートリッジ式になっていますので取替えが簡単にできます。

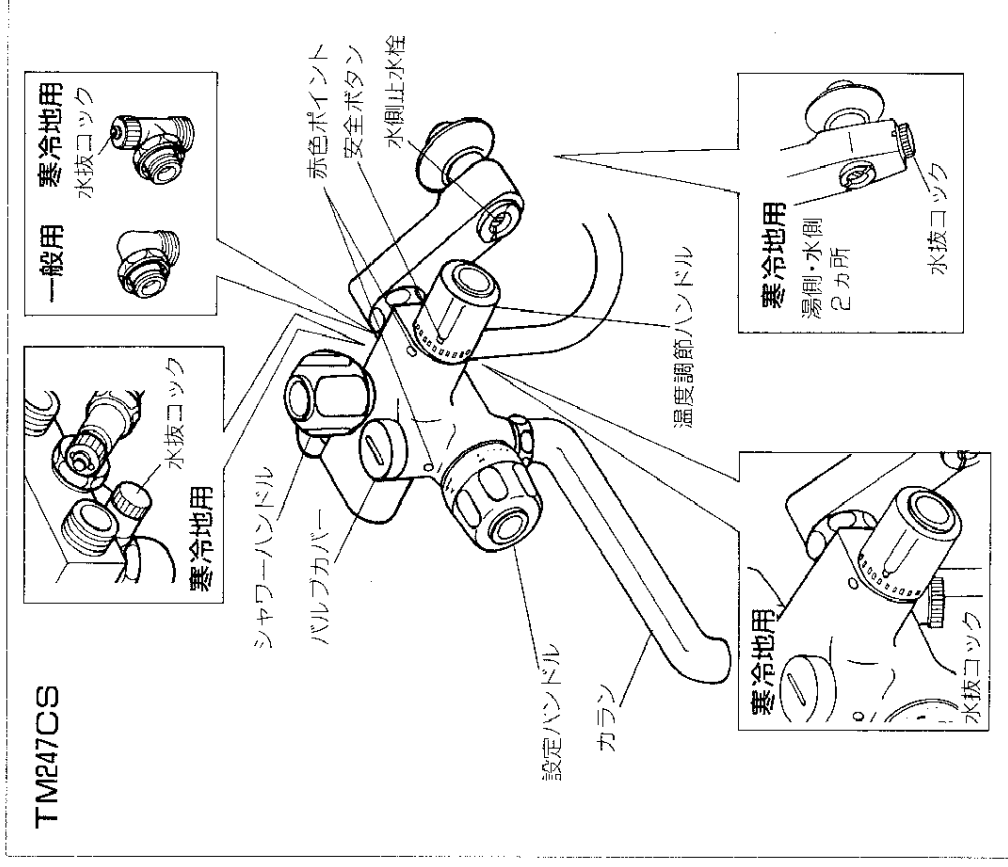
### 8. 寒い地域でも安心してご使用いただけます

寒冷地用は器具内の水抜きができる水抜コックを設けています。

## 各部のなまえ

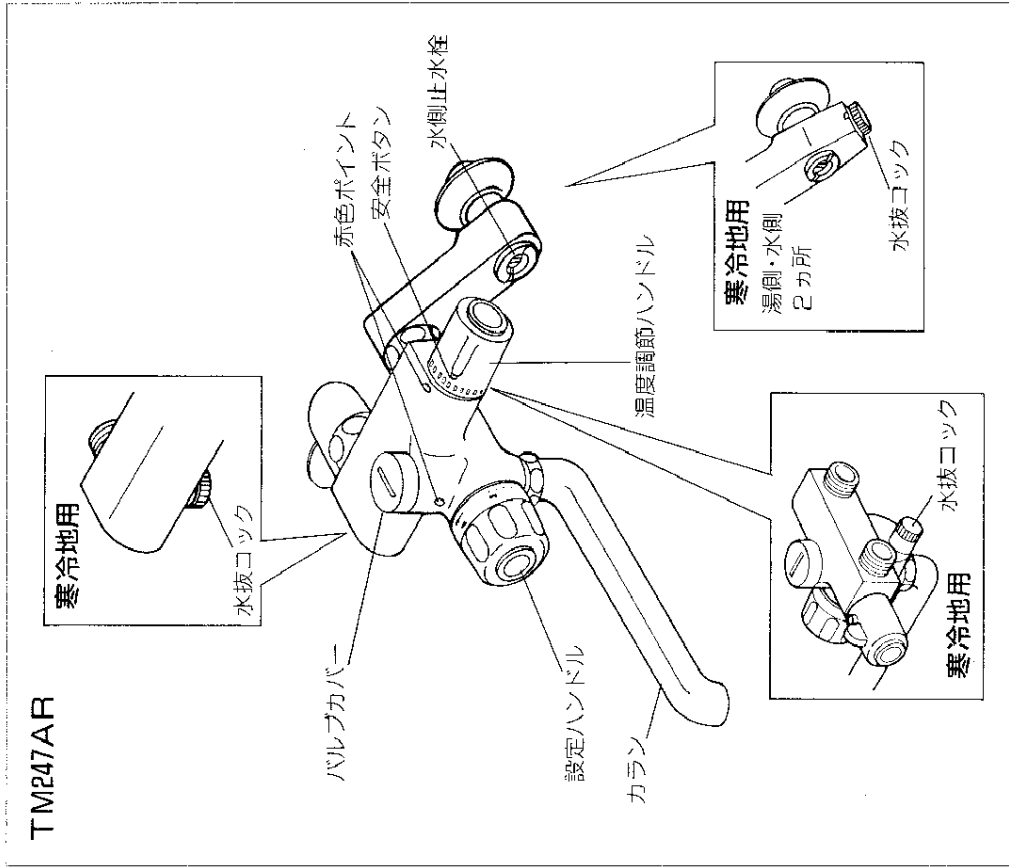
### ● 定量止水付サーモスタットシャワーバス金具

※ 品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



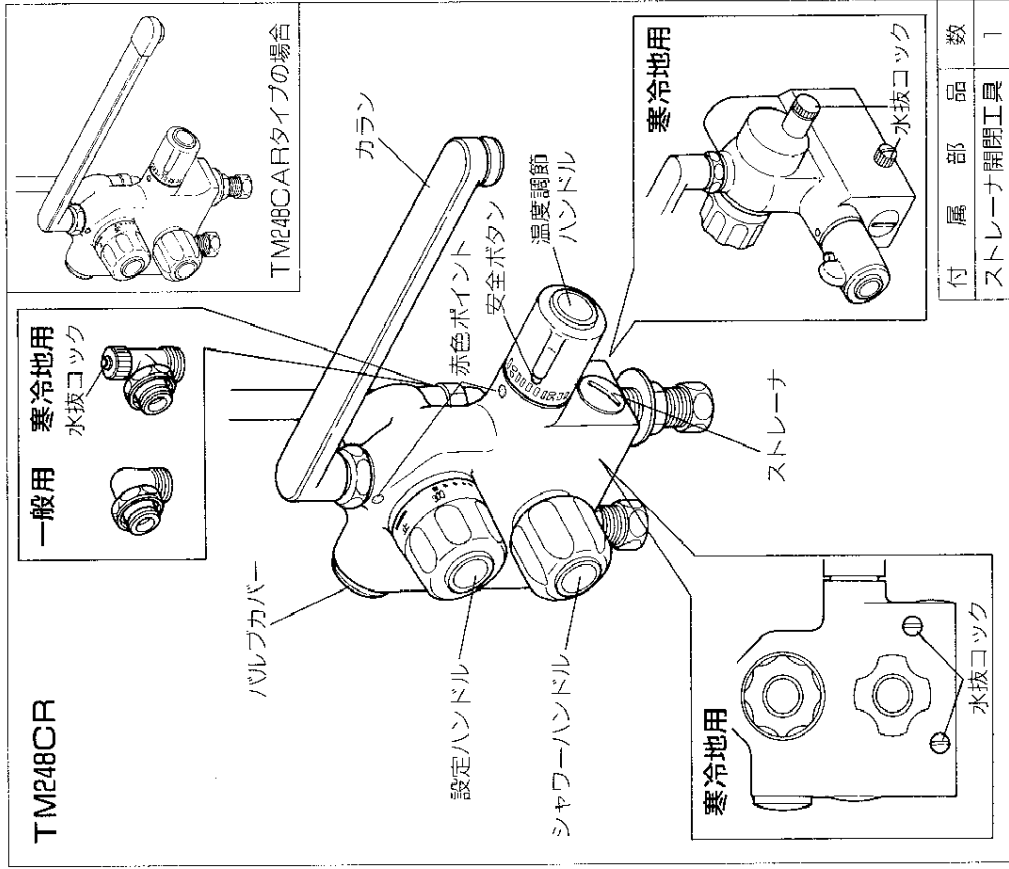
●定量止水付サーモスタット混合栓

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



●台付定量止水付サーモスタットシャワーバス金具

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



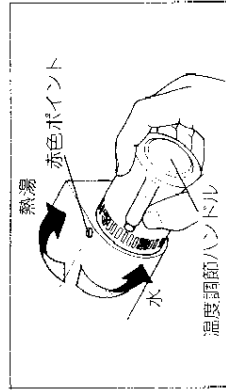
付属部品数	1
ストレーナ開閉工具	1

# つかいかた

## ● 温度調節ハンドル

温度の調節をするハンドルです。なお、このハンドルでは、湯水をとめることはできません。

### 1. 温度調節



温度調節ハンドルを回してお好みの湯温を赤色ポイントに合わせてください。ダイヤルの数字は湯温を示す目安としてください。

### 2. 安全ボタン



誤って熱湯を出さないように安全ボタンがついています。温度調節ハンドルは目盛"40"付近でロックされますのでこれより高温で吐水したいときは、安全ボタンを押して回してください。なお、安全ボタンを押して使用した後は、ハンドルを必ず目盛"40"以下に戻しておいてください。

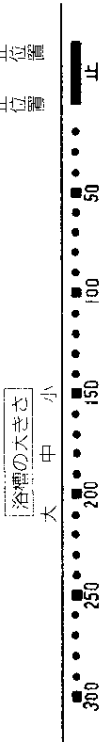
## ● 設定ハンドル

### 目盛の目安

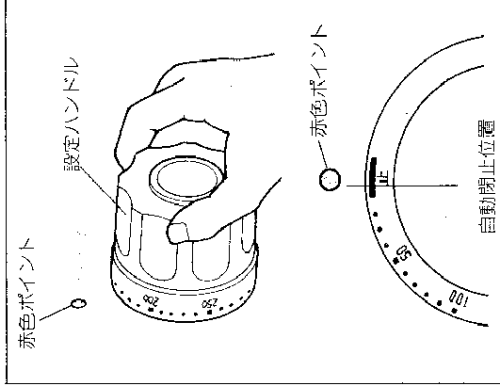
カランの開閉ハンドルです。浴槽に湯をためるとき、希望の量に目盛を設定すれば、吐水した後自動的に止水します。ハンドルの数字がおよその湯量です。(例:150=150ℓ)

下図に設定位置の目安を示しますが、一度湯をためてみてお取付けの浴槽に合った湯量を確認してください。

自動閉止位置と手動閉止位置には若干のズレがあります。



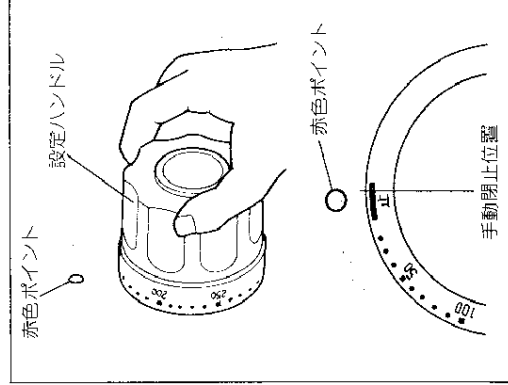
### 1. 自動吐水



設定ハンドルを矢印方向に回すとカラから吐水します。希望の目盛を本体の赤色ポイントに合わせてください。(120以下の目盛に設定するときは、一度120以上回してから戻して設定してください。)

設定湯量を吐水したのち、図に示す位置で、自動的に止水します。水をためて風呂を沸かす場合は、必ず浴槽内の水量を確かめてください。

### 2. 通常吐水

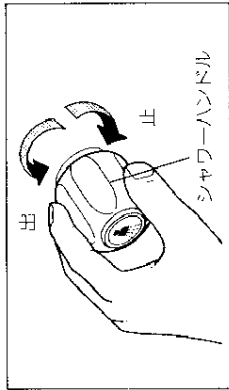


設定ハンドルを目盛120以上に回してください。

湯を止めるときは、設定ハンドルが止まるまで矢印方向へ回してください。

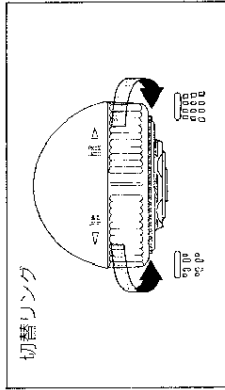
## ●シャワーハンドル シャワーの開閉ハンドルです。

### 1. 吐水と止水



シャワーハンドルを左へ回すと吐水し、右へ回すと止まります。使用後は必ずハンドルを閉めてください。

### 2. シャワーの切替え (マッサーシャワー付の場合)

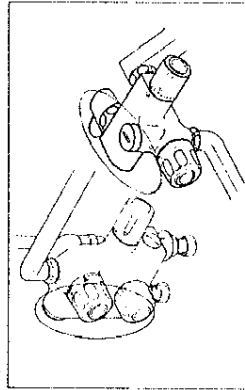


切替リングを左へ回すとマッサー一ジ(断続)吐水し、右へ回すとシャワー(連続)吐水します。

## 使用上の注意

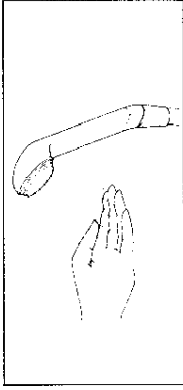
熱湯を使用しますので、やけどなどの事故がないよう、必ず次の注意事項を守ってください。

### 1. やけどに注意



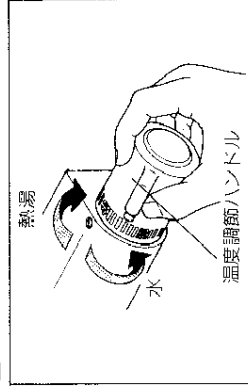
器具の左側は熱湯で高温になるため金具の表面に直接ふれないでください。また高温で吐水させた後はしばらく水を出し、高温の残湯を流しておいてください。

### 2. 湯温を確かめる



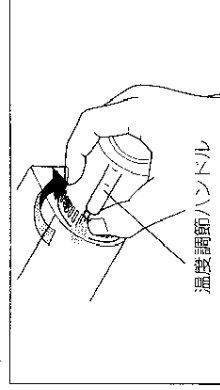
シャワーを使用するときは、いったん手で湯温を確かめてください。

### 3. 温度調節ハンドルはゆっくりと



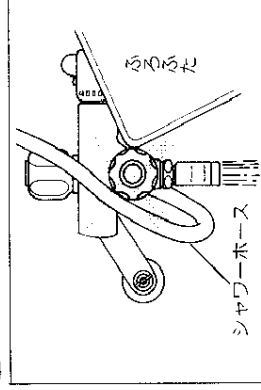
温度調節ハンドルを急に回すと温度が上がりがり過ぎたり、下がり過ぎることがあります。ハンドルはゆっくり回してください。

### 4. 温度調節ハンドルは“40”以下に



熱湯(“40”以上)を使用した後、次に使用するときいきなり熱湯を浴びないため、必ず温度調節ハンドルを“40”以下に戻しておいてください。

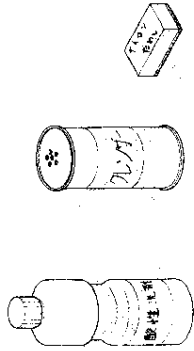
### 5. 自動吐水時



自動吐水時は設定ハンドルがゆっくりと自動回転しますので、ふろふた・シャワーホースなどがその動きを妨げないようにしてください。(動きを妨げると湯量が多くなったり、自動止水しなくなります。)

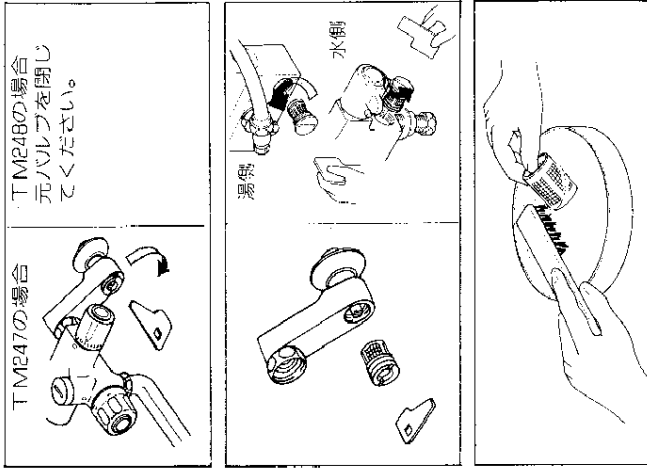
# 手入れのしかた

いつまでも美しく保つために柔らかい布でふき、めっさされたところはときどきミシン油やカーワックスなどをしみこませてください。ただし樹脂部(ハンドル・シャワーヘッドなど)に付着すると光沢を失いますので、付着しないよう十分注意してください。



クレンザー・みがき粉などや粗い粒子を含む洗剤およびナイロンたわなどはめっき面を傷つけますので使用しないでください。また酸性洗剤はめっきを腐しめますので使用しないでください。まちがって使用したと気づいたらすぐに水洗いしてください。

ストレーナがつまると吐水流量が少なくなったり、水又は熱湯が出なくなるなど十分な機能が発揮されなくなりますので次の方法でときどきストレーナを掃除してください。



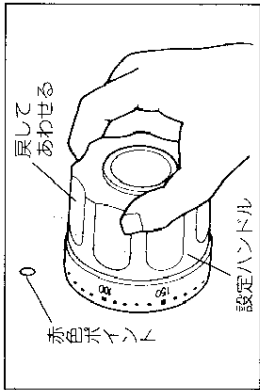
TM247の場合  
TM248の場合  
元バルブを閉じてください。

閉閉工具で湯側・水側の止水栓を閉じてください。  
(注) TM248には本体に止水栓がついていませんので、器具手前の元バルブか、又は水道メーター部の止水栓を閉じてください。

閉閉工具を溝に差し込みストレーナをゆるめて取り出してください。

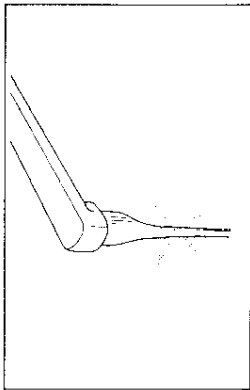
ストレーナの網目につまったごみをブラシなどで取除いてください。

## 6. 120以下の設定



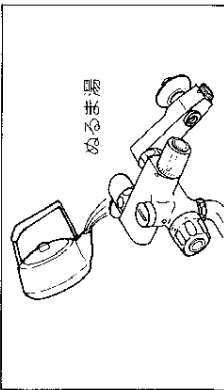
湯量を120以下に設定するときには、必ず設定ハンドルを120以上に回してから希望する目盛に戻してください。  
(そのまま120以下の目盛に合わせると、自動止水しません。)

## 7. 吐水流量



カラ側の水勢は止水栓で調節できますが、極端に絞ると、精度が悪くなったり自動止水しないことがあります。目盛150(約150ℓ)のとき、少なくとも30分以内で止水するぐらいの吐水量量でご使用ください。

## 8. 凍結すると少しの間吐水しません (寒冷地用の場合)



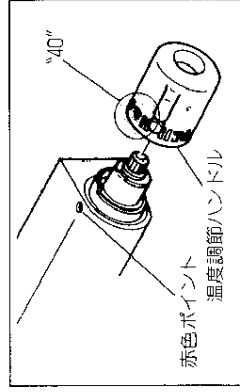
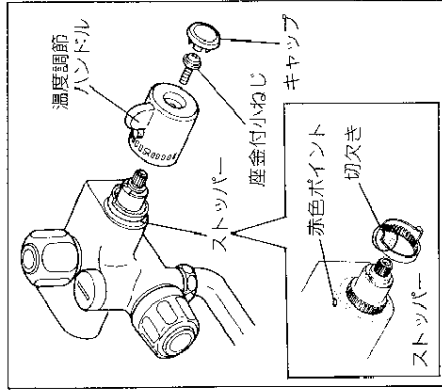
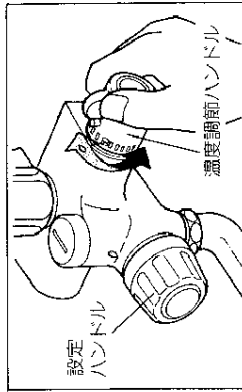
凍結した場合、水抜を行ってもストレーナの表面に付着した水滴が凍り、通水後も少しの間吐水しない場合がありますのでそのときは、ぬるま湯であらためてください。

## 給湯機がガス瞬間湯沸器の場合

- ハンドルは全開でご使用ください。
- 湯沸器の温度調節つまみを“高”の位置にして、能力切替つまみは季節に応じた位置にセットしてください。
- 適温が得られないときは、湯沸器の能力切替つまみで調節してください。

# 温度調節の方法

- ダイヤルどおりのお湯が出なくなったり場合は、次の要領で温度調節をしてください。
- 止水栓が開いているか確かめてください。
- ストレナーのごみづまりはないか確かめてください。
- 十分な温度(使用する温度より10°C以上)のお湯がきているか確かめてください。



設定ハンドルを開き、温度調節ハンドルのダイヤル目盛に關係なく40°Cのお湯が出る位置まで温度調節ハンドルを回してください。

温度調節ハンドルが回らないように注意してキャップ小ねじをはずし温度調節ハンドルを抜きとってください。

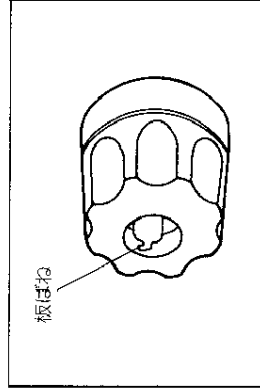
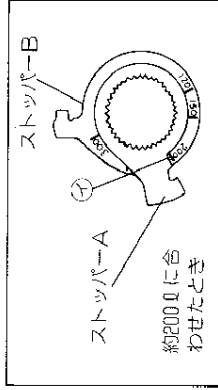
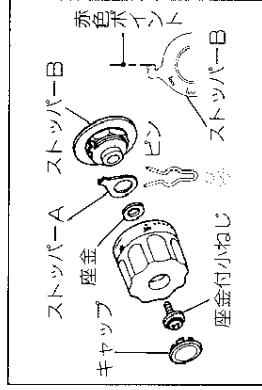
温度調節ハンドルを抜きとると、ストッパーがはずれ、赤色ポイントに切欠きを合わせはめてください。

ダイヤルの“40”の文字を赤色ポイントに合わせて温度調節ハンドルをはめ、小ねじで固定し、キャップをはめてください。

# 最大吐水量の調節方法

この器具は目盛900(約800ℓ)まで吐水量を設定できますが、浴槽の適量以上に設定ハンドルが回らないように最大吐水量を調節することができます。次の要領で調節してください。

- 調節する前に浴槽の適量を調べる。設定ハンドルの目盛がおよその湯量(ℓ)を示しますので、浴槽に湯をためてみておおよその適量がわかります。

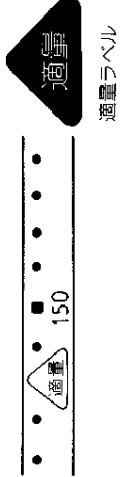


設定ハンドルの「止」を赤色ポイントに合わせてキャップ・小ねじをはずして設定ハンドルを抜きとってください。次に、ピンを抜いてストッパーAをはずしてください。このときストッパーBははずさないでください。もしはずれた場合は、赤色ポイントに対して図のように入れてください。

ストッパーBの数字はおよその湯量(ℓ)を示します。数字は50単位になっていますが10単位の設定が可能です。あらかじめ調べた適量の数字にストッパーAの①面を合わせてください。このとき120以下にセットしないでください。

ストッパーのセットが終わったらピンをはめ、設定ハンドルを抜きとる場合と逆の手順で元の位置におさめてください。このとき座金を忘れずと設定ハンドルが回らなくなるこゝとがあり、注意してください。また、設定ハンドルをおさめるとき、板ばねが出てくる場合があります。そのときは、ドライバーなどでおおりに押し込んでください。

左に添付している適量ラベルを設定量の目盛の上に左図のように貼りつけてください。貼る時は、ハンドルの表面の汚れや水分をよくふきとってください。





# 故障したときは

故障したときの修理はお取付工事店にご依頼ください。  
なおご不明な点がございましたらお客様相談室にお問合わせください。

## 修理を依頼される前にご確認ください。

現象	お調べいただくところ
<ul style="list-style-type: none"> <li>吐水流量が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>止水栓は全開されていますか。</li> <li>ストレーナにごみはたまっていますか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>高温しか出ない</li> <li>低温しか出ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>止水栓は全開されていますか。</li> <li>ストレーナにごみはたまっていますか。</li> <li>温度調節は適当ですか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>温度目盛どおりのお湯が出ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>止水栓は全開されていますか。</li> <li>ストレーナにごみはたまっていますか。</li> <li>温度調節は適当ですか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>水がとまらない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>シート部にゴミをかんていませるか。▶自動バルブの掃除参照</li> <li>バルブの小穴がつまっていますか。▶自動バルブの掃除参照</li> <li>ハンドル目盛が「止」の位置にありますか。</li> <li>設定ハンドルの動きを妨げていませんか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>吐水量が大きく狂う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>吐水量の設定はまちがえていませんか。</li> <li>設定ハンドルの動きを妨げていませんか。</li> </ul>

※ストレーナの掃除は12ページ、温度調節の方法は13ページを参照ください。

# 自動バルブの掃除のしかた

1		水側・湯側の止水栓を閉じる。 (注) TM248には本体に止水栓がついていませんので、器具手前の元バルブか又は水道メーター部の止水栓を閉じてください。		シートパッキンにごみかみがないか調べ
2		設定ハンドルの止まるまで矢印方向へ回す。		小穴がつまっていたら細い針金で掃除する。(何れの針金など)
3		バルブカバーを開ける。		バルブ部を水洗いしたのち、元どおりおさめ、バルブカバーを閉める。
4		バルブ部を取出す。		水側・湯側の止水栓を開く。

●メモしておくくと便利です。

購入年月日	購入店名
年 月 日	電話 ( )